

地域復興実用化開発等促進事業費補助金（第1次公募） 採択一覧

1【ロボット分野】

No.	事業計画名	企業・団体名	概要
1	災害救援物資輸送ダクテッド・ファン UAV の実用化開発	(株)IHI【相馬市】	震災時に孤立した被災者へ救援物資が届けられなかった事例を踏まえ、物資保持機構を搭載した無人航空機の開発を目指す。
2	自動運転車(ロボットカー)向けシステム開発	アルパイン(株)【いわき市】	自動運転の実用化に向けた開発が各社で行われている背景を踏まえ、自動運転車両の制御システム開発を目指す。
3	マルチコプター型 UAV 自動航行システムの開発	アルパイン(株)【いわき市】	マルチコプター型 UAV 市場の発展を見込み、自動航行システムの開発を進めてインフラ整備等実用的な場面での活用を目指す。
4	デマンド交通を実現するモビリティ技術開発	アルパイン(株)【いわき市】	少子高齢化社会の拡大により、電動車いす等のパーソナルモビリティの普及が不可欠になったという背景を踏まえ、最新の ICT 技術を駆使したモビリティ開発を進める。
5	マッスルスーツの高機能化・高性能化のための実用化技術開発	(株)イノフィス【南相馬市】	工場や医療福祉現場での労働環境悪化により離職率増加が進んでいるという背景を踏まえ、マッスルスーツの高機能化・高性能化に向けた開発を進める。
6	海洋調査を目的とした無人観測船の開発	(株)ウインディーネットワーク【静岡県】、日本原子力研究開発機構【南相馬市】	福島浜通り地域において水産業等の再開のため、基礎データを収集し、海洋調査のための無人観測船の開発を目指す。
7	災害対応ロボット電波を使用した遠隔操縦ロボット用災害対策車両システムの開発	コーワテック(株)【南相馬市】	土砂災害現場における初動対応としてドローンが活用されている背景を踏まえ、遠隔操縦ロボット用災害対策車両システムの開発を目指す。
8	自動バッテリー交換システムの開発	(株)自律制御システム研究所【千葉県】、(株)アイザック【いわき市】	現在、ドローンには航続距離、バッテリー、及び、その交換に課題があるという背景を踏まえ、自動バッテリー交換システムの開発を目指す。
9	無人飛行体をプラットフォームとする放射線分布の3D可視化技術の開発	(株)千代田テクノル【東京都】、日本原子力研究開発機構【南相馬市】	福島県では迅速かつ簡便に放射線をイメージングする技術が求められているという現状を踏まえ、無人飛行体による放射線分布の3D可視化技術の開発を目指す。
10	ロボットを活用した半凝固鋳鍛成型の生産システム実用化開発	日本オートマチックマシン(株)【南相馬市】	強度・軽量化・コストの面で質の高い商品を開発して欲しいという市場の要求を踏まえ、ロボットを活用した半凝固鋳鍛成型の生産システムの実用化開発を目指す。
11	ドローン開発拠点の実現に向けた実証実験～ロボット制御ソフトウェア基盤の RTM-ROS 2 相互連携開発～	(株)東日本計算センター【いわき市】	今後ドローンを活用する社会の到来が予想されることを踏まえ、ロボット制御の代表的な2つの基盤ソフトウェアを相互で実行できる連携ソフトウェアの開発を行う。
12	ドローンおよび無人地上車両による害獣対策と物資輸送サポート技術の開発	(有)ワインディング福島【南相馬市】、(株)エンルート M's【福島市】	野生鳥獣による農作物被害が拡大している現状を踏まえ、ドローン及び無人車両による害獣対策と物資輸送サポート技術の開発を目指す。

2【エネルギー分野】

No.	事業計画名	企業・団体名	概要
1	小型バイオマス発電システムの商業化に向けた開発計画	共栄(株)【いわき市】	採算性、残渣調達の困難性などの問題から普及の進んでいない食品残渣を使ったバイオマス発電システムについて、残渣の調達が容易な小型プラントで、建設コストが安く、ランニングコストの低い高効率なプラントを開発し、バイオマス発電の実用化を目指す。
2	デジタルグリッドルータ(DGR)を用いた自立分散型エネルギーシステム実用化開発事業	佐藤燃料(株)【いわき市】	2040年に一次エネルギーにおける再生可能エネルギーを100%にするという福島県の目標を踏まえ、デジタルグリッドルータ(DGR)といった発電技術を用いた自立分散型エネルギーシステムの実用化開発を目指す。

3【環境・リサイクル分野】

No.	事業計画名	企業・団体名	概要
1	レアメタル含有スクラップからの有価物リサイクル実証事業	(株)アサカ理研【いわき市】	航空機部品や加工用工具、高機能製品等の成長分野において、今後レアメタル需要の増加が見込まれることを踏まえ、レアメタルを含有するスクラップから有価物をリサイクルする新技術の実証開発を目指す。
2	新規な環境適合性樹脂の開発	(株)クレハ【いわき市】	海中に存在するプラスチックごみによる環境汚染への懸念が高まってきているという背景を踏まえ、環境適合性樹脂の開発を目指す。
3	炭素繊維リサイクル技術の実証開発	(株)クレハ環境【いわき市】	炭素繊維の市場拡大に伴い、炭素繊維廃棄物が大幅に増加しているという背景を踏まえ、炭素繊維リサイクル技術の実証開発を目指す。
4	難処理廃プラスチック製品のリサイクル	(株)クレハ環境【いわき市】	我が国は過剰な資源利用により将来的には最終処分場の不足が予想されるため、難処理プラスチック製品のリサイクルの開発を進める。
5	石炭灰リサイクル製品(再生砕石)製造技術の開発	(一財)石炭エネルギーセンター【東京都】、福島エコクリート(株)【南相馬市】、日本国土開発(株)【東京都】、新和商事(株)【新潟県】	石炭火力発電所から発生する多様な品質の原粉(フライアッシュ)の利用に際し、安定した製品品質の確立が発電事業者から求められている。このためには、原粉性状毎に異なる石炭灰リサイクル製品の適切な製造条件をデータベース化することが重要であり、この作業を通して石炭灰リサイクル事業の実用化開発を目指す。
6	総合リサイクルセンターの処理スキーム開発	太平洋セメント(株)【東京都】、(株)高良【南相馬市】	持続可能社会の実現に向けて資源効率の最大化を進める必要があるため、総合リサイクルセンターの処理スキームの開発を目指す。
7	植物由来・持続型資源新素材「ケナフ・ナノセルロース」の混合技術の実用化開発	トラスト企画(株)【いわき市】	ナノセルロースは加工に多くのコストがかかる木材を原料にする研究しか行われていないという現状を踏まえ、加工が容易なケナフを使ったナノセルロースの混合技術の実用化開発を目指す。

4 【農林水産業分野】

No.	事業計画名	企業・団名体	概要
1	日本初の茶豆養液栽培技術の通年栽培と市場開拓調査・販売実証	(株)アグリホープ【いわき市】	国内露地栽培では夏にしか出荷されない茶豆（枝豆の中で特に美味しく健康成分も多い高付加価値品種）を、「夏だけではなく冬にもフレッシュな国産の茶豆が食べたい!」という強い消費者ニーズを踏まえ、通年で栽培・出荷することを目指す。
2	いわきイノベーション農業福祉構想実用化開発(大規模太陽光利用型植物工場の先行開発)	(株)イノベーション農業福祉研究所【いわき市】	浜通り地域を復興させるために大規模先端農業を事業化する必要があるという地域住民の要望を踏まえ、太陽光利用植物工場による農業構想の実現を目指す。
3	IoT 技術をベースとしたスマート農業による高機能性野菜生産の実証試験	エコエネルギーシステムズ(株)【いわき市】	農業生産者の高齢化や担い手の減少により、中山間地域における小規模農業生産は厳しい現状がある。このような背景を踏まえ、地域の気象特性や自然エネルギーを最大限に活かした農業生産手法にもとづき、高機能性野菜の試験栽培、および生産から流通までを視野に入れたスマート農業の実用化試験に取り組む。
4	ケナフリグニン及びケナフバイオカーボンの実用化開発	(株)相馬牧場【南相馬市】、 (株)ハート・プラザ【喜多方市】	浜通り地域の食用作物の生産意欲低下が叫ばれている現状を踏まえ、潤滑油添加剤の原料となるリグニン及びバイオカーボンの開発を目指す。
5	縦ログ構法に関する技術開発と縦ログ生産ネットワーク体制の構築	(株)芳賀沼製作【南会津町】、合同会社良品店【郡山市】、(有)たむら農建【田村市】	通常のログハウスと異なり縦向きに木材を並べて壁を作るといった縦ログ構法に、生産体制や精度面に課題が有るという背景を踏まえ、安定供給できる生産体制を確立し、林業の活性化を目指す。
6	サケマス魚類循環濾過養殖プラントの実用化	(株)林養魚場【いわき市】	サケマス魚類の生産量を上げるためには計画的に種苗の生産を行う必要があるという背景を踏まえ、飼育水を繰り返し使用する循環濾過養殖プラントの実用化を目指す。

5 【環境回復、放射線分野】

No.	事業計画名	企業・団体名	概要
1	高濃度放射能物質の管理のためのロボット技術(遠隔操作)による放射能可視化システムの開発	(株)テクノエクス【南相馬市】	現状の空間線量率での2次元汚染マップでは、3次元的な汚染部の特定はできず、住民等の不安も必ずしも解消しきれない。そこで申請者発明のマルチコリメータ方式ガンマカメラを用いた3次元放射能濃度分布計測法とロボット技術による無リスク計測法を開発する。同時に放射能濃度分布可視化により、空撮や高BG雰囲気下での汚染物や高濃度集積物の管理=特定+処理+管理を目指す。

6【医学（医療機器等）分野】

No.	事業計画名	企業・団体名	概要
1	移乗機能とリハビリ機能を備えた電動アシスト車いす開発	会川鉄工(株)【いわき市】、(株)鈴木電機吾一商会【いわき市】	介護現場における介護者の肉体的負担が大きいという背景を踏まえ、移乗機能を備えた電動アシスト車いすの開発を目指す。
2	福島県内における100%部品調達に向けた移乗・移動ロボット実用化開発	(株)アイザック【いわき市】	介護現場（医療・福祉施設等）において利用者様の移乗時の転倒リスクや移動の自立性、移動の介助負担がかかっているため、移乗・移動支援や介助支援機器の実用化開発を目指す。
3	唾液中の歯周炎由来 HGF 検出試験紙の事業化、及び唾液を測定用検体とするイムノクロナマト測定試薬の開発	(株)アイシーエレクトロニクス【大熊町】	臨床検査の検体として血液が最も多く使用されているが、採血そのものが医療行為に該当し医師の指導下で行う必要がある為測定者や測定場所が限定されてしまう。これを踏まえ血液に代わる検体としての唾液の測定薬や試験紙の事業化を目指す。
4	リズム歩行支援ロボット Walk-Mate の社会実装に向けての製品化モデル構築事業	WALK-MATE LAB(株)【南相馬市】	歩行障害を有した患者や高齢者の転倒予防を進める必要があるという背景を踏まえ、歩行リズムに同調させ歩行支援を行うリズム歩行支援ロボットの製品化を目指す。
5	リアゲートオープン式電動車いす（介護ロボット）による福島復興計画	(株)エヌティーエス【いわき市】	現在、乗降が楽にできる電動車いすが無いという背景を踏まえ、使用者自身が乗降車容易なリアゲートオープン式電動車いすの開発を目指す。
6	在宅メディケアシステム開発	コニカミノルタ(株)【東京都】、福島コンピューターシステム(株)【いわき市】	福島県の高齢化率が全国平均を上回っているという事例を踏まえ、クラウドを介して在宅高齢者の健康状態を遠隔モニタリングする在宅メディケアシステムの開発を目指す。
7	被災地住民の帰還を促進する医療とロボット産業の統合実証事業	(株)ヘルステクノロジー【南相馬市】	震災後の避難生活における介護予防・日常生活支援が問題となっている背景を踏まえ、自立支援介護予防促進による健康産業都市の実現に向け、様々な介護予防機器の開発を目指す。